

講演会のご案内

講演テーマ：ボランティア活動を通してみる日豪の奉仕文化の比較

演者：小村輝代（外国人客員研究員。オーストラリア南クイーンズランド大学講師）

日時：2012年10月3日（水） 午後5時～

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス

ボアソナード・タワー3階 BT-0300（マルチメディアスタジオ）

オーストラリアでは、大学教員にも社会奉仕、社会貢献が義務付けられているほど、社会全体に奉仕文化が定着しており、連邦政府が授与する「ピープルオブザイヤー」賞のような顕彰制度もある。また、災害時には州政府発信のツイッターや既存のネットワーク、メディアの参加により、大規模で有効なボランティア活動の展開を可能にしている。

一方、日本では1995年の阪神淡路大震災時のボランティア活動が契機となり、政府のボランティア制度創設、そして、東日本大震災時のボランティアネットワークの構築へと繋がってきた。

講演では、1.日豪の奉仕文化の比較（起源、実状、背景など）、2.阪神淡路大震災とオーストラリアの大洪水におけるボランティア活動の比較、3.東日本大震災に対する社会貢献のあり方などについて話していただく予定である。

演者紹介

1952年神戸生。2011年 Griffith Business School, Griffith University で PhD(博士)取得。2010年より Lecturer of Accounting, University of Southern Queensland. 専攻分野：非営利企業の会計学、研究分野：自然災害と効果的公的および人的貢献、企業貢献と個人貢献。論著：Omura, T. and Forster, J (2012) Sustainability of charitable organisations Upcoming on the special issue for the International Journal of Business, Building Sustainable Communities.

講演会に関する問合せ先

国際文化学部教員 曾士才 soshisai@hosei.ac.jp